

発熱などの症状がある場合の 相談・受診の流れ

発熱やせきなど、風邪の症状がある場合

休むことを検討してください

仕事や学校などは休み、外出やイベントなどへの参加は控えてください。休むことは自身のためだけでなく、感染拡大防止につながる大切な行動です。

まずは、電話で相談



休日や夜間、相談先が分からない

かかりつけ医
身近な医療機関



24時間対応

北海道新型コロナウイルス
感染症健康相談センター



《案内》

(☎0800-222-0018)

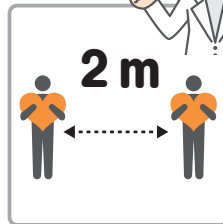
発熱者等診療・検査医療機関を受診

正しく理解し、思いやりのある行動を

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者や濃厚接触者、医療従事者などを傷つける不当な差別や偏見は、決してあってはならないことです。

感染拡大の収束が見通せない中、不安を感じているのは、皆同じです。誰かのこととしてではなく、自分のこととして考え、不確かな情報に惑わされることなく、冷静かつ思いやりのある行動をお願いします。

マスクの着用



新型コロナウイルス感染症は、無症状の方も多くいるほか、発症の2日前から他の人に感染させてしまう可能性があると考えられています。感染拡大を防ぐためには、自分が感染しないことだけでなく、他人に感染させないことも大切です。日頃から、マスクを着用し、咳エチケットを心掛けるとともに、人との距離を一定程度保つよう努めましょう。

生活の中に潜む感染リスクが高まる

① 飲酒を伴う懇親会など



飲酒により、気分が高揚し、注意力が低下しがちに。箸などの共用も感染リスクを高めます。

② 大人数・長時間の飲食

人数が増えるほど、大声になり、飛沫も飛びやすく。

時間も長くなればなるほど、感染リスクが高まります。



冬に流行する感染症にも注意が必要です

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの症状は似ており、医療機関・医療従事者への負担はさらに大きくなります。また、冬にはノロウイルスによる感染性胃腸炎も増加します。共通した感染予防に加え、予防接種やバランスのとれた食事、十分な休養などで、免疫力を高めましょう。